説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
1	今後、シントシティ以外の地域について、例えば、この地域は全員、芝川小に通学しくださいといったことや、特定の学年だけ芝川小に通学してくださいといったことは検討しているか。	大宮南小の児童数の緩和について、決定している学区調整は、シントシティの取組のみであり、基本的には指定された学校に行きます。今後についてはシントシティの募集結果等の状況を見て判断してまいります。なお、特定の学年だけを別の学校に通学させるようなことについては、学校運営上の課題も大きいため、今のところ考えておりません。 【11/4 回答内容更新】 シントシティ在住の方を対象に行っている、上木崎小学校への通学を可能とする「選択可能地域」について、令和9年度入学に向けて、対象地域を大宮南小学校の通学区域全域（上木崎小学校を選択できる特定地域を除く）に拡大し、追加募集を行っております。対象となる御家庭には、11月4日に教育委員会から直接御案内を送付いたしましたので、手続等については、通知及びHPをご覧ください。 「選択可能地域設定による上木崎小学校への定員制入学・転学制度について（大宮南小学校の通学区域にお住まいの方）」 https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/012/p122758.html また、上木崎小学校以外の周辺校の選択については、皆様からいただいている御意見も参考にさせていただきながら、その可否も含め、引き続き検討してまいります。
2	完成後校舎の部屋の種類や教室割当などはもう決定しているのか。	まだ決まっておりません。現時点は建物の大きさや配置場所などを決める基本計画が終わった段階であり、今後の設計業務で、そうした内容を検討してまいります。
3	東京の小学校で火災があり、児童がひさしに避難するような事件があった。完成後の校舎は4階建で給食室も含まれるが、防災面についてしっかりと考えてもらいたい。また昔は校庭で運動会や地域の防災訓練も実施していた。しっかりとそういったことができる学校にしてほしい。さらに車椅子の子どももいるので、しっかりとバリアフリーも漏らさず、検討してもらいた	今後の設計業務の中で、ご意見をいただいた点などを検討し対応してまいります。お示ししている設計工程は、少しお時間をいただく状況となっているが、様々な配慮すべき観点を漏れることがないように、丁寧に進めてまいります。
4	上木崎小の選択可能地域について、令和8年度の利用実績と、令和9年度にこの制度での最大人数は何人なのか。	今年の4月からこの制度で上木崎小に通うお子さんが、29人います。シントシティの来年度の対象人数は150人弱となります。
5	令和11年度の7カ月間は校庭が全く使えないが、運動会の練習などはどのようにするのか。	出来るだけ工事エリアを減らすことは今後も検討していく予定であり、実際にはその確保できたスペースを見ながら整理していくこととなりますが、中庭や空いたところ、体育館を利用して、割り当てていき、どうしても足りないところは、中学校を利用して実施します。運動会は現状、芝川小で実施しているが、練習についても中学校を借りるなどを検討してまいります。
6	令和11年度のまったく校庭が使えない期間について、地震などが生じた場合には、全学年が外に出ることができないと思うが、南中などに避難することを想定しているのか。	安全行けることを大前提に、距離も勘案しながら、低学年・中学年・高学年で分けるなども含めて、今後、対応方法を検討してまいります。
7	工事の影響等を考慮した場合に、シントシティ以外の地域の人にも、周辺校への通学を選択できる制度を拡大することを検討してほしい。	今後のシントシティの募集結果等の状況を見て判断してまいります。上木崎小学校区においても、大きな集合住宅が建設される余地もあるので、そうした状況も児童数の推計に加味しながら、検討してまいります。 【11/4回答内容更新】 No1の更新内容をご確認ください。
8	周辺校への通学を選択できる制度を拡大できるか否か、検討の結果は早めに出してもらえるのか。小学校受験なども検討する必要があるので、早い段階で示してもらいたい。	応募状況や児童推計をしっかりと見ながら、早めに結論を出すようにいたします。
9	南中に仮設校舎を建てるという回答（No16）があるが、小学校で工事の制限を受けながら、6年間過ごして卒業した後に、進学先の中学校でも工事があったり、近隣校が校庭を借りていたりといった状況であると、その子どもたちがとても損をしているように感じる。そうしたことがないような工事計画を考えてほしい。	大宮南中の大規模改修工事について、現時点で何年から行うといったことは決まっておりません。しかし、小学校で工事の影響を受けた児童が、中学校でも引き続き工事の影響を受けるというようなことは避けて、計画を立ててまいります。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
10	工事スケジュールが示されているが、これはこれ以上短くなる可能性、または逆に長くなる可能性はあるのか。	詳細なスケジューリングは今後の設計業務で決定します。長くなる可能性も否定はできませんが、すこしでも短くできるように検討をしていきます。
11	設計段階において、計画の見直しなどを行うこともあるか。	建物の位置や大きさなどを抜本的に変えるというよりも、今回示したこの案を基にして、詳細な設計を進め、改善すべきものを改善してまいります。
12	体育などで移動をする場合、1年間の授業の時間が短くなると思うがどのように考えているか。	体育の必要な時間数は確保した上で、移動時間を考慮して、授業時数をどうするかを調整していくこととなります。時間数が減るといったことはないように調整していくため、ご安心ください。
13	上木崎小は通学班がないと聞いたが、実際はどうなのか。	上木崎小学校は現在、登校班がありませんが、一般的に登校班は自治会やPTA単位で導入を決定しているものですので、保護者側で設定することは可能です。 その他、シントシテイから上木崎小に通学するための通学路の整備をしています。シントシテイの南側への横断歩道整備や、電柱の移設などを行っています。
14	設計段階などで情報の更新もあると思うが、最新の情報はどのように発信される予定なのか。	スケジュールなど設計の中身については、適宜情報発信を行っていく。どういう媒体で介して伝えるかといったことは、今後の検討となりますが、しっかりと情報提供できるように努めてまいります。
15	選択可能地域制度については、工事後も継続するのか。それとも、工事期間中の限定の取組となるのか。	大宮南小の児童数は多い状態が今後も続く見込みであるため、しばらくは継続するものと考えています。
16	校庭の狭さが気になっている。この人数規模で、最低限このくらいの広さは確保したいといった基準はあるか。 学校には設置基準のようなものがあったと思う。もしくは他校の事例などでこのくらいあれば大丈夫だったという考え方もあるかもしれないが、最低限必要な面積は確保してもらいたい。	校庭については、設置基準もある中で、まずは工事を通じて、仮設校舎を設置する前の校庭の広さに戻すことを目指しています。 また、工事中の校庭面積については、基準は特にないものの、出来る限り広く確保できるように、設計を進めてまいりたいと考えています。
17	工事期間中の校庭面積は、資料では最大で2200㎡であり、政令で指定されている基準の2420㎡に届いていない。しかもこの基準は240人程度の学校に対してのものであり、1400人の学校に対して、全く足りておらず、児童数を抑制する必要がある。 周辺校への通学を増やすためには、上木崎小と南小の校庭面積と児童数を示し、一人あたりの校庭面積が分かるようにしたり、その他、休み時間のスペースの割当の状況なども含めるなどして、案内を出すべきではないか。 市のメンツもあるかもしれないが、そうした情報を正確に示して、保護者が就学児検討診断などで実際に学校を見れば、保護者が判断が出来る。 南小は保護者や先生方がいいので、そうしたトラブルは生じないかもしれないが、狭い学校に子どもを閉じ込めてしまうと、いじめなどに繋がる例もある。ぜひ検討してほしい。	大宮南小や上木崎小について、従来の本設の建物に対しての面積については公表していますが、仮設校舎を配置後の面積は現状ございません。 ただ、両校ともに仮設校舎がありますが、上木崎小の方が、大宮南小よりも校庭面積が広く、逆に上木崎小の方が人数が少ないため、一人当り校庭面積は上木崎小の方が広いことは、ご指摘の通りであり、また今後の工事により更にその差が広がることも事実です。 来年度入学児童の保護者には既に通知を案内済みでございますが、選択を行う保護者の皆様には、様々な情報を吟味しながら、選択をしていただきたいと考えております。来年度以降、ご提案の内容も含めて、出来る限りの情報を掲載していけるよう、検討してまいります。
18	周辺校への通学許可をシントシテイ以外の地域にも拡大させる取組については、今後の募集状況で検討するとしているが、来年度の募集時期には結論が出ているのか。それとも再来年度以降になるのか。コロナ禍で行動を制限されながら幼児期を過ごした子どもたちなので、小学校はよりよい環境で過ごさせてあげたい。判断の時期次第では引っ越しや受験を検討する必要があるので、時期を示してもらいたい。	今年度の募集状況や、上木崎小の空き状況を見ながら、検討を行うこととなります。シントシテイ以外の選択の拡大についても、周辺校の空き教室や推計状況を見ながら、検討をしてまいります。 【11/4回答内容更新】 No1の更新内容をご確認ください。
19	シントシティ以外の地域への選択可能地域の導入について、どういう検討を行っているのか、何か問題があるのかなどを教えてもらいたい。	シントシティ以外の地域にお住まいの保護者の方からも、上木崎小に通えないかといった問い合わせはいただいているところです。一方、現在、シントシティの対象世帯に今年度の募集を行っているところでございます。募集結果を見て、どの程度、他地域の受入可能かを整理することなるため、現時点ではお答えが難しい状況です。申し訳ございません。 【11/4回答内容更新】 No1の更新内容をご確認ください。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
20	吉敷町、浅間町、天沼町などは、大宮小・芝川小などにも通える距離にある。保育園のお友達の世帯と話していると、一緒に越境通学をしようといった話も出ている。芝川や大宮に人が流れることも考えられるが、そのあたりは検討をしているのか。学校や学童にも影響が出ると思うので、考えを伺いたい。	例えば、芝川小は現在で750人、令和14年度には800人を超える推計となっているなど、決して十分な余裕があるわけではありません。ただし、上木崎小以外の周辺校の活用についても、検討から排除はしているわけではなく、周辺校の推計や空き状況、上木崎小の応募状況を見ながら、判断していきたいと考えております。
21	工事期間が長いので、登下校の時間帯や、学童保育などの時間に配慮しながら、工事車両の安全対策は徹底してほしい。	子ども・歩行者の安全は、第一に優先すべきことですので、そういう意識で工事の進め方を検討してまいります。例えば、登校時の車両搬入を避けるなど、取りえる対策をしっかりと取り入れて、安全に進めてまいります。 ※説明会では「登下校時」と発言していましたが、他校で下校時に車両搬入を行っていない事例がないため「登校時」に訂正します。
22	工事の詳細については、今後も引き続き、地域や保護者にも情報を発信してほしい。	※(補足追記)当日の質疑では、左の質問への回答が抜けておりましたが、No14と同様の回答となります。
23	児童増への対応のために工事をするとのことだが、工事をしている時が一番多く、その後は減少してしまうのではないか。人数の見通しを検討した上での決定となるのか。	大宮南小の児童数は現在1245人で、令和14年度には、1460人を超える規模となります。その後も多い人数を維持する予想を立てております。また現時点も過大規模校であることも考慮すべき課題であり、課題を解消するため、今後の見通しに耐えられる規模の教室を、北校舎を建替えて用意してまいります。
24	設計の期間が、令和8年～12年までの4年間と、工事期間と比べても、長いと感じる。もっと期間を短縮できるように思うが、これほど長く、設計工程を確保している理由はあるか。	さいたま市では、設計の期間として、一般的に基本設計1年、実施設計2年で対応をしていくため、資料でもこの工程を示しています。防災やバリアフリーなど新しい校舎で考慮すべき観点を漏らさずに丁寧に検討する必要もあることから、一定の期間は必要になると考えておりますが、引き続き、短縮にも努めてまいります。
25	周辺校への通学を選択させる取組について、なぜ上木崎小だけで受け入れを行うこととしたのか。シントシティが原因であるのに、シントシティだけに選択権を与えて、それ以外の地域は指定の大宮南小に通えということは、扱いに差があるように感じてしまう。	上木崎小はシントシティからの距離的な面や通学路の安全性で優れていました。また、グラウンドが広く、築山もあり、築山を壊せば、仮設校舎を設置しても、グラウンドを広く維持できることも見込まれていました。これらのことを考慮し、仮設校舎を整備し受け入れ態勢を整え、シントシティからの通学を認める取組を決定したところです。 他の地域への選択の拡大についても、検討は始めておりますが、シントシティからの募集をすでに行っているため、まずはこの応募状況も見た上で、他の地域への拡大も検討してまいります。 【11/4回答内容更新】 No1の更新内容をご確認ください。
26	今後の設計業務で、様々な検討がなされると思うが、それにより後の工程が変わってくるようなこともあるのか。	他校の工事でも、給食センターから配食を行う必要がある時期が生じるため、調整したうえで大宮南小の工事の計画をしています。このため、時期を1年・2年といった大きな単位で入れ替えるようなことは難しい面がございます。 まず、基本的には現在お示ししている内容を違えず、工期が伸びるようなことがないように、そして極力、短縮が出来るように、検討を進めてまいります。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
27	安全や健康を第一にしてもらいたい。ホームページの質問への回答No28で、アスベストの調査は今後と書いてあった。アスベストの対策について、事業者の標準に任せるといったことだけではなく、教育委員会や学校でプラスアルファに対応を行う予定があるか。 例えば、アスベストの有無が調査で分かったときには、すぐに地域の保護者に情報展開されるのかといったことや、標準の工事の方法に任せるというだけではなく、学校としてもこういうことをしますといったことはあるのか。	アスベストの調査状況は書面に記載の通りですが、解体時には最も留意すべき事であるため、設計を進めるとともに、校舎のアスベストの含有調査を実施します。 調査の結果、アスベスト含有建材を使用していることが判明した場合は、リスクコミュニケーションといって、関係者の皆様に対して、事前調査結果、作業期間、作業方法などをしっかりとお伝えすることを、最初に実施します。 また、アスベスト対応を所管している市役所の環境局と協力しながら、湿潤化などルールにのっとり適切に安全に処理をしてまいります。 最近では、西区の指扇小学校で、仮設校舎に子どもが移動した上で、校舎の解体工事を行った際に、環境部局と協力をしながら、地域の皆様とコミュニケーションを取って対応をした事例がございます。
28	武蔵浦和義務教育学校の建設工事が入札不調となるなど、工事の担い手が不足していると聞く。今回の大宮南小の工事の規模であれば、そうした影響を受けずにスケジュール通りに進められると考えているのか。その確度を伺う。	不調となる可能性がないわけではありませんが、北校舎のみの建替えという工事の規模を鑑みても、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校のような事態にはなりにくいと考えています。 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の入札不調の原因もしっかりと分析して、大宮南小の工事入札でも対策が取れるようにしてまいります。
29	上木崎小の英語教育や放課後みんなの広場事業について、とても素晴らしいと感じたが、こうしたものは、大宮南小では導入予定はないのか。	特食ある英語教育について、学校毎に人員の配置が異なる面があるものの、大宮南小では、1～3年生は担任とALTで授業を行い、英語教育の充実を図っています。 上木崎小の体制と比較して見劣りを感じる面もあるかと思いますが、1つ1つの授業については、充実するような取組を行っています。 また、みんなの広場については、今後小学校での工事を予定しているため、おそらく工事後の取組となると思われます。 いずれにせよ、小学校の中では、1つの授業をしっかりと充実させることで、子どもたちの力をつけるということは、普段からやっていることですので、ご安心ください。
30	上木崎小を選択した場合に、進学先の中学校は変わることになるのか。	元々の指定校である大宮南中学校に加えて、上木崎小学区の進学先である大原中学校も選択できるようになります。
31	上木崎小を選択した場合に、大原中も選択できるとのことだが、今後、大宮南中の生徒が増えた場合に、大原中に行ってくださいと言われてしまうようなことはあるのか。	現時点ではそうしたことは、全く考えておりません。
32	ホームページの質問への回答のNo22で大宮南中学校について、仮設校舎の建設がある旨を確認したが、大宮南小学校のようなリフレッシュ工事を行う予定はあるか。 工事中の小学校で6年間を過ごした子どもが、中学校でも同じように工事中というのは、非常にかわいそうだと感じている。	大宮南中の大規模改修工事について、現時点で何年から行うといったことは決まっておりません。しかし、小学校で工事の影響を受けた児童が、中学校でも引き続き工事の影響を受けるというようなことは避けて、計画を立ててまいります。
33	南小の工事期間中に、どの学年が、どの校舎を利用するかといった学年割りが決まっているのかを伺いたい。合わせて南中の仮設校舎で過ごす可能性のある学年割りも伺いたい。	校舎の学年配置は、学年のクラス数が毎年異なるため、来年のクラス数を決定するところで、あわせて決定していくため、現時点ではどの学年が仮設校舎に入るとは言えません。 ただし、工事期間中は南校舎と新規仮設校舎で対応することとなりますが、南校舎の方が教室が少ないため、1学年が南校舎に入り、その他の学年が新規仮設校舎に入る形となると思われます。
34	現在の新規仮設校舎の整備に当たっては、木や鉄棒は全て撤去されてしまうのか。	仮設校舎の配置を行うため、撤去する場合があります。ただし、鉄棒など、必要なものについては、可能な限り、移設をして残してまいりたいと考えています。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
35	必要な教室数を用意するとのことだが、大宮南小や南中の生徒数の推移に対して、必要な教室数の規模の割合はどのように推計しているのか。	大宮南小は、令和8年5月現在、児童数1245名・学級数41学級で、令和14年度は、児童数1462名・学級数49学級となると推計しています。 これに対して、工事後の教室については、52学級にも対応できるように検討をしています。 ※(補足追記)中学校について、当日回答が出来ておりませんでしたが、下記のとおりです。 大宮南中は、令和8年5月現在、生徒数399名・学級数15学級で、令和14年度は生徒数561名・学級数20学級となると推計しています。同中学校の学級に使用できる教室は17教室であり、不足が見込まれることから、ホームページの質問への回答No22に記載の通り、今後の小学校の状況も踏まえながら、必要な規模の仮設校舎の整備を行ってまいります。
36	推計について、今後の開発などを見込んだ増加の変数は組み入れられているのか。	推計は、シントシティの増加率であったり、その他のマンションや戸建て開発の情報を、加味して作成しています。
37	整備される教室については、1クラスあたりの基準や1人当たりのスペースなどの必要な基準などは満たされているのか。例えば、昔は1教室40人までであったと思うが、そういったものを加味して、推計や規模の検討がなされているのか。	教室の面積は過去から基本的には変わっておりませんが、現在は1クラス35人学級となっています。教室や校舎などは、そうした小学校の設置基準等、各種基準を踏まえて、建設してまいります。
38	建替えを行う北校舎と南校舎の位置がかなり近く、工事の教育環境への影響が気になっている。騒音などへの対策について他校での事例などがあるのか。それとも、今後、対策を一から検討していくようなものなのか。伺いたい。	先ほど触れた西区の小学校の事例をはじめ、校舎に近接した場所~~中~~で工事を施工し、授業を行っている実績も踏まえた対策を行ってまいります。 工事の騒音や振動をまったく無くすことは難しいですが、No25で触れた通り、最大限の対策を行います。解体時において騒音や振動が少しでも抑えることができる工法の採用や、低騒音・低振動の重機を使用します。今後の設計の中でも、しっかり対策を検討してまりいます。
39	6年間工事の影響を受ける学年となり、子どもに安心した状況で通わせて挙げられないことがとても残念に感じる。なぜシントシティだけに選択肢があるのかという気持ちになる。周辺校への通学を認める取組を他の地域に拡大させていくことについて、真剣に検討をお願いしたい。	同様の意見を多くいただいており、しっかりと受け止めています。受入れを行う学校側の状況や、現在行っている、シントシティからの募集状況も確認しながら、検討させていただきます。 【11/4回答内容更新】 No1の更新内容をご確認ください。
40	授業を受けている間に工事がなされることは、どうやっても影響があると感じる。これまでも実績があるとのことだが、実際にやってみて、保護者の方からアンケートを取ったりなどはしたのか。保護者や子どもたちがどのように感じたのかを把握して検討しているのかを伺いたい。	工事の時間については、どうしても日中の時間帯になってしまいます。しかし、例えば、車両の搬入は登校の時間帯を避けたり、音が出てる工程で、教育活動に影響が出る場合は、工程を調整するなど、学校の運営に最大限支障のない形で対応をしています。 アンケートを実施したことはございませんが、校長先生を含め、先生方と連携して、問題があればすぐに言っていただき、速やかに対応するといったことを行っています。連携を取りながら、子どもたちの教育環境に影響が出ないように努めてまいります。
41	大宮南小の児童の推移が、今が1200名で6年後に1400名と聞いたが、周りの小学校も同様の割合で増えていると感じるが、どのようになっているか、伺いたい。	出生者数や周辺の開発予定を加味した推計となりますが、上木崎小は令和8年度786名・29学級、令和14年度は933名、36学級となる推計です。
42	ホームページの質問への回答のNo1に関して、大宮南小と大宮小と概ね同じような距離に住んでいる世帯もいる。施設の余裕がないとも記載があるが、例えば、大宮小は現在何名くらいで、どのくらい教室に余裕があるのか。例えば、1クラスでもそちらに行けば、大宮南小に余裕が生まれると思うので、伺いたい。	大宮小は今年度669名、24学級です。大宮小は、現在進めている大宮駅東口周辺のまちづくりの中で、建替えの議論があり、そのために仮設校舎を整備していきます。そうした関係もあるため、どの程度の余裕があるのか現時点でお答えが難しい状況です。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
43	ホームページの質問への回答のNo15に関して、休み時間などはローテーションで対応するとあるが、今でも休み時間はローテーションで実施している。今後児童が増えて、面積が狭くなると、1カ月に1・2回しか外に出られなくなるような事態も考えられる。 具体的にどのくらいの面積になって、このくらいの学級数なので、1月にこのくらいの遊ばせることができるといった数字も検討した上での回答となるのか。	校庭や休み時間のローテーションについては、新年度のクラス状況を把握しながら、毎年作成していくものとなります。このため具体的に何回といった数字が出る状況ではありません。校庭が小さくなることは確実ですが、出来るだけローテーションの階数をへらさないように工夫をしていきたいと考えております。
44	シントシティの目の前に、新庁舎が建設される。まだ利用の決まっていない諸室もあったかと思うので、その一部の諸室を利用し、大宮南小の教室をサテライト化させて、リモート授業などをするといったことは考えられないか。市の内部の連携で実現可能であると思うので、ぜひ検討をしてほしい。	新庁舎について、どのような諸室が入るかなども多く決定している状況にあるため、現実的には厳しい部分があるかもしれないが、ご意見としては承ります。
45	一定規模の面積を確保出来ている期間はどのようになるのか。新設仮設校舎の建設時には、この面積は確保できないという理解でよいか。	北校舎の建設解体の間となり、令和12年度～令和16年度の途中までとなります。新規仮設校舎の解体時は、解体工事のヤードを組む際に、再び校庭が狭くなります。 工事ヤードの大きさは、今後設計の中でより縮小できるように検討してまいります。 また、北校舎には、建替え後に屋上校庭の整備も検討をしており、極力運動に使える面積を用意していけるように努めてまいります。
46	狭い環境の中での子どもたちのメンタルやそれを支える先生たちも疲弊するのではないかと心配している。学校、教育委員会もそれぞれにそうした課題についての受け止めを聞きたい。	体育は、時間割の工夫や、学年の組み合わせなども検討していきます。 また体育館には、これまで夏の間は暑さで利用できなかった日もありましたが、この夏に空調設備がつきました。こうしたものも活用していくことで、体育について今までどおりの内容が出来るようにしたいと考えています。 また、休み時間についても、子どもたちが活動できるように、中庭、運動場、校庭などを利用していますが、子どもたちが遊べるような場所を少しでも用意しながら、子どもたちに影響がでないように対応をしていきます。 教員については、とにかく一人で抱え込まず、組織的に対応していくことを徹底しているところです。工事により活動に支障がきたすような時には、きちんと話し合いながら、子どもたちの安全を第一に、工夫をして対応してまいります。 また、教育委員会としても、学校と連携し、出来る限り子どもたちに安心してもらえるような取組をサポートする体制を整えてまいります。
47	遊具などはなくなってしまうのか。	遊具については、子どもたちに必要なものについて、移設を進めていきます。
48	進学先の中学校はどのようになるのか。	大宮南小学区の場合、指定校は大宮南中学校となります。南小の学区から、上木崎小への通学を選択した方が卒業した場合は、上木崎小学区の進学先である大原中も選択できるようになります。
49	第二音楽室や第二理科室が削減される。大宮南小は吹奏楽が盛んで地域活動にもよく盛んしているし、今後は理系教育も重要だと考える。その点についてどのように考えているのかを伺う。	校庭面積の確保を優先し、第二音楽室・第二理科室の整備をしない方向としました。 第一・第二理科室は、満杯にまで使っているわけではありません。理科室を使わなければならない授業は、理科室で使用し、そうではない授業は教室で実施することが可能です。 音楽についても、同様に音楽室でなくても教室でできる授業もあるため、時間割を工夫しながら対応が可能と考えております。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
50	過去の説明会で、上木崎小ではシントシティからの児童の受入を見越して、プールを壊して、そこに仮設校舎を建てるという話があると伺ったと記憶している。 今後の上木崎小の学級数の見込みや、シントシティから上木崎小の通学を認める定員数の見通しを伺いたい。	上木崎小は令和8年度786名・29学級、来年度は、793名の30学級となります。現状、大宮南小に通うシントシティ在住児童は現在416名で、未就学児は800人程度います。 ※(補足追記) 現時点の選択状況が続く場合、令和14年度には933名、34学級となります。 ※(補足追記) シントシティから上木崎小の通学を認める取組は、毎年90名を定員として開始しており、今後の定員数は、利用者の総数が毎年90名ずつ増えるという当初の想定規模を超えないように留意しながら、募集状況を踏まえて、検討を行います。 上木崎小の仮設校舎は1棟設置されているが、北側の築山を壊して、グラウンドの広さは維持しています。プールを壊してという話が出たが、現状はそれを実施することが必要になるほどの児童数の増加は推計されていません。 ただし、上木崎小に隣接するJR社宅があり、今後どのように開発されるのか不透明な分もあるので、必要に応じて将来的に活用を検討することになります。
51	資料p10の右の図には、新規仮設校舎がないが、新規仮設校舎はないのか。	p9の右図は、南校舎と屋内運動場の改修中のイメージであり、それらの改修の前、令和16年度に、新規仮設校舎の解体を行います。
52	令和16年度の新規仮設校舎の解体期間はどのくらいか。	今後、設計を行うため、正確な期間は示すことができませんが、建てる期間が7カ月程度を想定しているため、同等若しくは可能な限り短くできるよう、設計をまとめていきたいと考えております。設計により時期など定まりましたら、ご案内をしてまいります。
53	ホームページの質問への回答のNo28・29で、万が一アスベストがあった場合に、安全に施工しますとありますが、健康面に不安がある。アスベストが発見された時に、どの程度保護者の意見を聞いてもらえるのか。 例えば、現状、シントシテイ以外には、他の学校を選択することができない中であるが、他の学校も選択することができるようになったりしないのか。	石綿含有建材について、現在、調査が完了しておらず、今後、調査を行ってまいります。石綿含有建材が確認された際には、適切な飛散防止対策を行ったうえで、解体工事を行います。 また解体工事を行う前に、保護者など関係者の皆様に事前調査結果、作業期間、作業方法などをお伝えすることを最初に実施します。 他校の例でも、こうしたリスクコミュニケーションを実施したうえで、粉塵が飛散しないような方法で工事をしました。大宮南小の解体が初めてではないため、過去の知見や安全対策はしっかりと活かしてまいります。 また、対策についても工事施工者に任せるのではなく、市役所の中に、アスベスト対策を所管する部局があるため、指導を受けながら、子どもたちの安全確保に努めてまいります。 なお、シントシティ以外に在住する子どもが上木崎小に就学できないのかという点については、現在シントシテイに対する募集を行っており、2月一杯までが期間となっています。応募状況も踏まえつつ、施設の空き教室などの状況も踏まえて、地域の拡大については判断させていただきたいと考えています。
54	屋内運動場の改修や南校舎の改修とあるが、改修とはどのようなことを行うのか。	屋上の防水工事や外壁の塗り直しや亀裂の補修などがあります。また内部についても内装を改修することを想定しています。改修内容の詳細は設計段階で最終的には決定します。
55	屋内運動場は地域の避難場所となっているが、改修工事期間中は、避難することができなくなるのか。	地震など有事の際に、避難所として使えなくなることは問題であるので、市の防災部局と連携をしながら、新設される北校舎を使っていただくなどの対応を考えています。いずれにせよ、市民の方が避難できないような状況は作らないよう対応を進めてまいります。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
56	1番目の子どもはコロナ前に卒業し、2番目の子どもは、コロナの時に入学し、6年間過ごして卒業した。2番目の子どもは仮設校舎の工事で大きく影響を受けた。先生方も頑張っていただき、感謝しているが、子どもたちも外遊びで発散できる状況ではなく、詰め込まれた状態で限界があったと感じる。 この6年間、教室を歩きまあったり、教室の外に出ていってしまう子供や、それにつられてしまう子供、一部の子どもたちに振り回されてしまう先生たちがいた。子どもたちが徒党を組んで先生と喧嘩するようなこともあった。保健室は先生が増え、子どもがよく集まるようになった。 コロナ禍が落ち着き、ドッジボールを嬉しそうに遊んでいたが、仮設校舎工事で、遊べなくなった時には、とても悲しそうにしていた。子どもたちがクラスで集まって、家の周りや学校の周りを散歩して、コクーンの先の公園で遊ぶようなことも見られた。 2番目の子どもの入学してから卒業するまでの姿はこのような状況であった。1番目の子どものときには、先生と言い合いをするなどそうした姿は見たことがなかった。入学当初に学校にいけないような子も、2学期からは何事もなく登校している姿もあった。授業中歩き回るような子も見たことがない。 同じ地域の学校で、兄弟なのに、どうしてこんな変わってしまったのか。やはり学校の環境だと思っている。卒業式で式辞でも、こうした過大規模校・仮設校舎で負担を受けた子どもたちに対するねぎらいの言葉もなかったのは、保護者として残念だった。人数が多く、在校生から見送ってもらうことも出来なかった。簡素化された行事の中で6年間を過ごすことになった。先生方にも多くの負担がかかったと思う。 こうした6年間を振り返り、今後、入学してくる子供たちにこのようなことがないように、改善してほしい。	コロナ禍を経て、仮設校舎で、子どもたちには本当に負担をかけたと思います。本当に申し訳なく思っています。子どもたちの様子を見て、不安にさせてしまった面があると思います。 こうした反省を含め、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるようにしたいと考えております。工事で校庭は狭くなってしまうが、教育委員会にも少しでも広く校庭を確保できるように工夫してもらいながら、学校としても出来るだけ活動を確保できるようにどうすればいいか知恵を出し合いながら、対応をしてまいります。
57	今南小学校が1000人いる。南中学校も増える。南中の教室も不足していく。小学校で工事の影響を受けて、中学校でも工事というのでは、かわいそうなので、出来るだけ早く中学校の教室を増やす工事を進めてほしい。	中学校の人数がどのようになっていくか、教育委員会として精査をしながら、教室を増やすなどの必要な工事を行っています。 また教室を増やす工事とは別に、本日説明をしたようなリフレッシュ工事は、時間がかかる長い取り組みとなります。小学校でリフレッシュ工事の影響を受けた子供が中学校でもリフレッシュ工事の影響を受けるといったことが発生しないように、しっかりと計画を立てて進めてまいります。
58	上木崎小の取組で、JR社宅が開発された場合の話をしていたが、社宅の開発や周辺地域のマンション開発の動向を踏まえ、ああいう土地は、市で早めに買い、学校が建てるなど、計画的に進めてもらいたい。	上木崎小の推計には、周辺のマンション開発やJR社宅の人数増の見込みについて、加味しているところであるため、JR社宅の活用については、今後想定を超えるような規模のマンションが建つなどの状況に応じ、情報収集を行いながら、その要否を整理していきます。
59	上木崎小の取組で、仮設校舎を建てるのに、プールを壊すといった話も出たが、水泳授業自体は、歴史的な事故を経て、日本に広がったものである。なるべく残すべきだと思う。	水泳授業については、学習指導要領の中で実施するものと定められております。さいたま市では現在、民間施設に委託をしているような学校もあるため、そうした取組で対応します。 なお、大宮南小についても、プール用地の活用のために、水泳授業の民間委託を検討したが、児童数が多く、候補施設の条件では合うところが見つかりませんでした。分散して受け入れてもらうような取組も検討しましたが、引率体制の課題もあり、難しい面がございました。こうしたことから、プールについては残していくということになりました。
60	体育の授業で、小学校から中学校に移動するとなると、45分の授業の中で、低学年では難しい面もあるように感じるが、高学年だけの取組となるのか。	クラス数など諸条件を加味しながら、どの学年の授業を中学校で行うかを検討してまいります。ただ、低学年が中学校を利用するとなると、移動に時間もかかるため、高学年の広いスペースが必要な授業について、中学校を利用するなどの使い分けを考えています。

説明会当日の質問と回答　（8月29日10時の回:No1~No22 ／ 8月29日14時の回:No23~No44 ／ 8月30日14時の回:No45~No63）

No	質問	回答
61	プールについては、授業時数は10時間でしょうか。実際に今年度、各学年どの程度授業ができているか。	プールについては、8時間程度授業時数を計画しています。年度によっては天候が安定せず計画実施できないこともございますが、今年は各学年概ね実施することができました。 ※(補足追記)当日、授業時数は概ね10時間とご案内しましたが、教育計画上は8時間でした。修正をしております。
62	ホームページの質問への回答のNo22で、南中の工事がR9からの3年間でなされると記載がある。南小は長期間工事がかかるのに、なぜこのような短い期間でできるのか。工事期間が重なってしまい、小学校でも中学校でも工事の影響を受けるような学年が生じてしまうのではないか。	No22の工事は、あくまで生徒数の増加に対応するための教室を増やすための工事であり、本日説明した工事は、児童増の対応も目的に含まれますが、老朽化対策のための時間のかかる工事とは異なります。 なお教室を増やすための工事は、令和10年度の1年程度となりますが、こちらも生徒への影響が生じないように、努力をしてまいります。
63	ホームページの質問への回答のNo16でについて、工事中の学校で6年間を過ごし、工事後の校舎を使えないまま、卒業する子もいる。そういった子どもへのケアについて、考えを伺いたい。	特別扱いをすることは考えていないといった記載をしましたが、施設面については、負担を掛けてしまう南小の子どもたちの状況を考慮し、小学校体育館へのエアコン設置を他の小学校に先立って、実施させたいただいたところです。